

岡山市の避難所について

令和5年 防災に関する地域説明会
岡山市危機管理室

本日の説明内容

1. 指定職員とは？
2. 岡山市の避難所
3. 避難所開設までのフローチャート
4. 避難所の状況想定
5. 避難所の運営主体
6. 避難所開設に関連すること
7. 避難場所の備蓄物資・備品
8. 避難場所での感染症対策
(新型コロナウイルス5類変更後)
9. システム

指定職員とは？

⇒避難情報が発令された際、市内の小学校・中学校・公民館等に派遣され、避難所の開設・運営等に従事する職員のこと。**中学校区単位**で担当する避難所を割り当て、リーダーを一人配置。リーダーおよびサブリーダーの指示に従い、避難場所での職務に従事する。

⇒避難所一カ所につき、1班2名×2～3班体制となっている。

2.岡山市の避難所

○指定職員が開設・運営する避難所

1) 市立学校・公民館等

- ・ 小学校86校、中学校35校、義務教育学校 1校、公民館37館（分館は除く）

2) 小学校代替の協定避難場所

- ・ 岡山大学第二体育館（津島小）
- ・ 御津南保育園（御津南小）
- ・ 馬屋上コミュニティハウス（馬屋上小）
- ・ 迫川コミュニティハウス（迫川分校）
- ・ グレート岡山ゴルフ倶楽部（竹枝小学校）

☆災害種別（洪水・土砂災害・高潮・地震・津波等）により避難が危険な避難場所は開設しない。

3) 県立高校

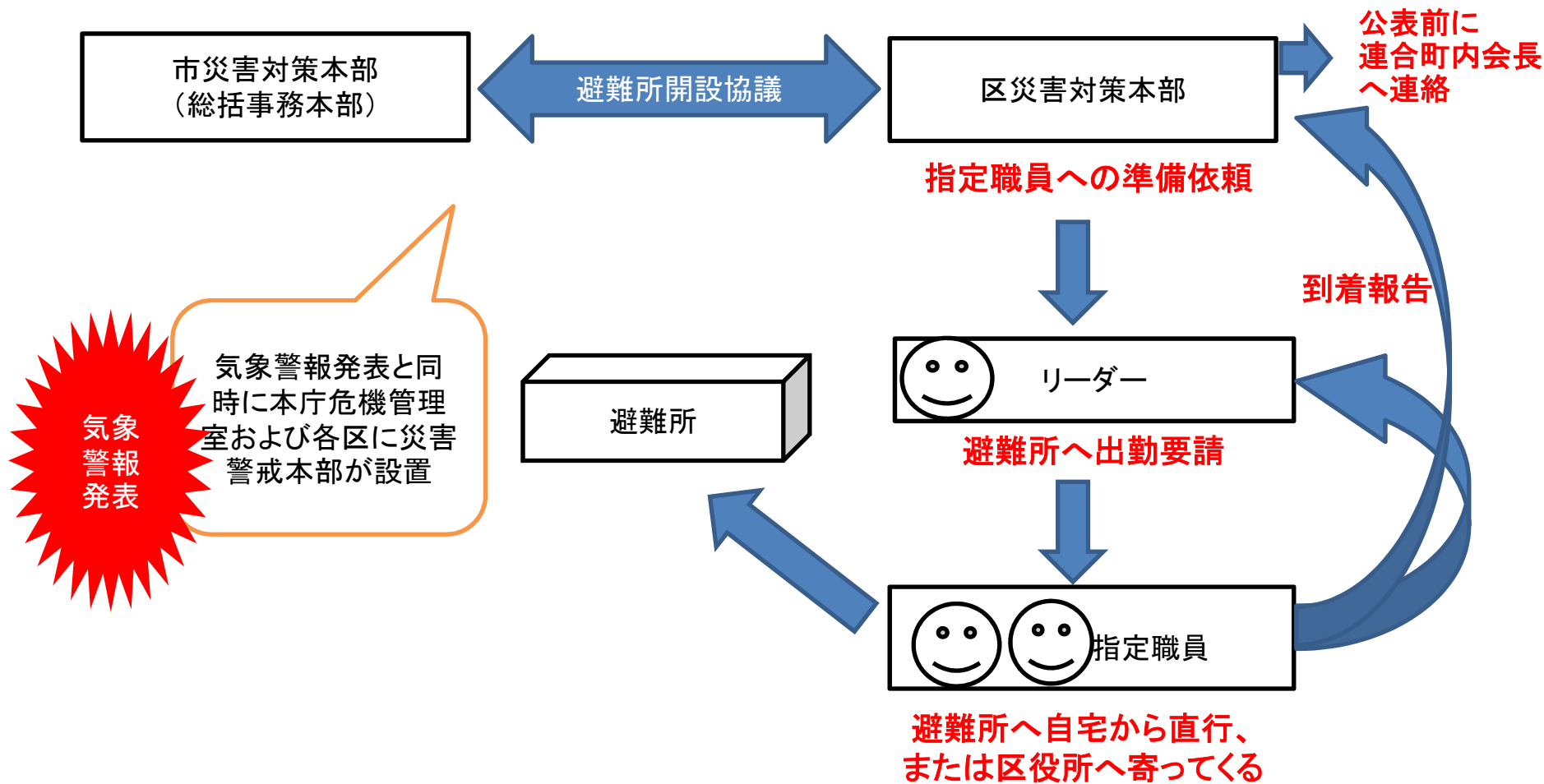
- ・ 岡山操山、岡山城東、岡山一宮、岡山南、瀬戸南の5校

4) その他

- ・ 犬島自然の家、山南学区旧小学校4校
- ・ IPU環太平洋大学第二キャンパス

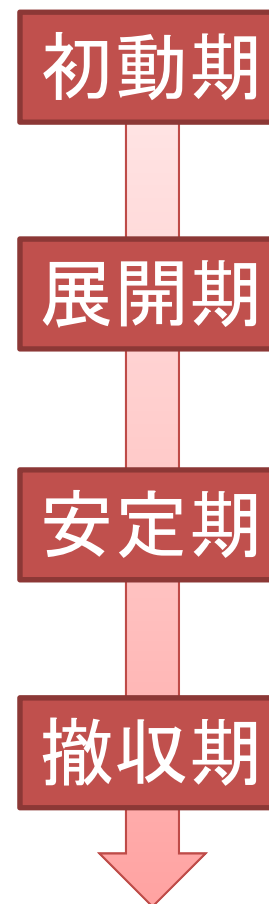
5) 状況によっては、上記以外の避難所について指定職員の派遣を行う場合がある。

3. 避難所開設までのフローチャート



4. 避難所の状況想定

- 初動期 災害発生直後～3日程度
避難者が殺到し、精神的にも不安定
- 展開期 3日～1週間程度
食料や物資はおおむね供給
避難者が流動
避難者は落ち着きを見せ始める
健康状態の悪化が予想される
- 安定期 1週間から2週間程度
避難者の退所が増え、運営体制の見直し
- 撤収期 2週間～3ヶ月程度
おおむね落ち着いた状態
避難所の統廃合が進む



5. 避難所の運営主体

基本的な考え方

1. 避難所は避難者自身が運営
2. 避難所運営本部を中心とした避難所運営
3. 避難所運営のための活動班設置

5. 避難所の運営主体

避難所運営本部			活動班
本部長	副本部長	① 班長	• 総務班
		② 班長	• 被災者管理班
		③ 班長	• 情報班
		④ 班長	• 食料、物資班
		⑤ 班長	• 施設管理班
	副本部長	⑥ 班長	• 保健、衛生班
		⑦ 班長	• 要配慮者班
		⑧ 班長	• ボランティア班
		⑨ グループリーダー	• 各居住グループ (A, B, C, …)

6. 避難所開設に関連すること

◆避難所の事前開設

台風等で、夜間に災害が起こる可能性がある場合、明るい時間帯に安全に避難できるように開設する

◆車中泊避難

ハザードマップにより浸水被害想定のない地域の避難所の運動場を開放
<対象校>

- 小学校 鯉山・清輝・建部・桃丘・御津・五城・横井・蛍明・馬屋下・岡山中央・竜之口・富山・旭操・城東台・豊・甲浦・灘崎・妹尾・興除・彦崎・七区・箕島・旧大宮・旧太伯
- 中学校 建部・御津・香和・岡山中央・岡輝・東山・富山・瀬戸・光南台・灘崎・妹尾・興除

7. 避難所の備蓄物資・備品

○備蓄

- 全小・中学校に備蓄倉庫設置済（R2年度）
（プレハブ備蓄倉庫、空き教室を利用した備蓄倉庫）
- 県立高校5校等にもプレハブ備蓄倉庫を設置済（R4年度）
- 備蓄置場スペースがとれた公民館には、備蓄物資を配備（R4年度）

※状況によっては、開設時や交代時に備蓄品の持参を考慮

※物資が不足する場合は、区本部や集中備蓄倉庫から避難所へ配送

標準的な備蓄物資

〈小・中学校の備蓄物資 標準的な備蓄〉（プレハブ備蓄倉庫、空き教室を利用した備蓄倉庫）

品目	数量		箱数
クラッカー	560	食	8箱
アルファ化米	1000	食	20箱
飲料水(500ml)	504	本	21箱
紙おむつ(子ども用)	各サイズ※1		各1箱
紙おむつ(大人用)	各サイズ※2		各1箱
尿取りパッド	約170	枚	1箱
生理用ナプキン	468	枚	1箱
毛布	500	枚	50箱
排便収納袋	2500	枚	25箱
トイレットペーパー	100	巻	1箱
マスク	600	枚	3箱
ブルーシート(3.6m×5.4m)	5	枚	1箱
投光器	1	基	1箱
発電機(カセットガス型)	1	台	1箱

購入年により、1箱の内容量に差異あり

※1 紙おむつ（子ども用）

サイズ	数量	
新生児	270~360	枚
S	252~336	枚
M	256~272	枚
L	216	枚

※2 紙おむつ（大人用）

サイズ	数量	
S	66~88	枚
M	80	枚
L	68	枚
LL	60	枚

〈小・中学校の備蓄物資 標準的な備蓄〉（空きスペース等に保管している物資）

品目	数量		箱数
カセットガスボンベ	24	本	1箱
多目的テント	4	張	4箱
パーティション(テント型)	5~10	張	5~10箱
簡易ベッド(発泡PP製)	5~10	床	5~10箱
スポットクーラー	2~4	台	2~4箱
簡易トイレ(断水時用)	4	個	4箱
テレビ・屋内アンテナ	1	台	1箱

※カセットガスボンベは高温(40度以上)の場所には置けないので、プレハブ備蓄倉庫内ではない場所へクーラーボックスに入った状態で保管。

○避難所運営ボックス(大)

- ・指定職員が開設・運営するすべての避難所に配備済
（設置場所は体育館ステージ下等）
- ・ビブス・ウエス・布テープ・養生テープ・立入禁止テープ・乾電池（単1・単3）・LED懐中電灯・LEDランタン・メガホン・延長コード・特設公衆電話（発信専用小・中学校のみ）

○避難所運営ボックス（小）

- ・指定職員が開設・運営するすべての避難所に配備済（体育館ステージ下等へ配置）
- ・ボールペン・ゴミ袋・避難所運営マニュアル、避難者受付票等の様式・外国人情報シート（英語・中国・ハングル）・緊急告知FMラジオ・油性ペン（黒・赤）・はさみ・セロテープ・用箋ばさみ・レジ袋（靴用）・レポート用紙・ヘルプマーク（説明資料有）

○感染症対策ボックス

- ・指定職員が開設・運営するすべての避難所に配備済
- ・ペーパータオル・体温計・マスク・使い捨てビニール手袋・消毒液・液体石鹸・ゴミ袋・養生テープ・巻尺・掲示用注意喚起ポスター・ガウン・フェイスシールド

新型コロナウイルス感染症の扱い

令和5年5月8日

感染症法上の類型が5類へ引き下げ



季節性インフルエンザと同等の扱いへ



- ◆陽性者・濃厚接触者専用避難所の運用終了
- ◆一般的な感染症予防の取り組みは継続

8. 避難所での感染症対策（新型コロナ5類変更後）

受付時に避難者の体調確認を行う（体温測定・問診）

マスク着用の推奨

発熱・咳のある避難者は専用スペースに誘導
（トイレは専用の場所を使用）

換気の実施

手洗い・咳エチケットの励行（職員も避難者も） 定期的な清掃

注意喚起のため避難場所にポスター等を掲示し、避難者に周知する

避難者世帯同士のソーシャルディスタンスの確保（1mを目安に）

9. システム

「避難所混雑状況配信システム（バカン）」

システム概要

PC・スマホを活用した避難所の混雑状況についての情報発信

岡山市：PC・スマホから避難所の開設・混雑状況を、市民へ情報発信。

市民：PC・スマホで最寄りの避難所の位置や混雑状況を一目で確認

「利用停止中」「空いています」「やや混雑」「混雑」「満」の5段階で表示

避難所や災害対策本部で
混雑状況を入力



混雑状況をリアルタイムで表示



混雑状況のほか、避難時の注意事項
などの施設情報も掲載可能

空いている避難所を確認



混雑を避け、安全・安心な
避難先の選択をする
ための情報を取得
↓
迷わず速やかに避難

混雑状況配信システムURL（岡山市一般市民用）

<https://vacan.com/area/okayama-city-evacuation/evacuation-center/12>



大地震発生直後、あなたは家族と家
にいました。何をしますか？

- ①
- ②
- ③
- ④
- ⑤
- ⑥
- ⑦

ご静聴ありがとうございました。

